

久世保育所における自己評価の結果

段階は3段階で行います

- A：達成できている
- B：おおむねできている
- C：改善を要する

〈評価の表示について〉

- ・職員による自己評価を行い評価の割合が高かったものをA、B、Cで表示しています。
- ・課題・改善の必要な事項については、特記事項に記載しています。

◎保育の計画の編成と実施に関する評価					
項目	内容	評価	特記事項		
保育所の重点項目	重点目標 ①ドキドキ、わくわく子どもも大人も楽しい保育を展開する		年度当初に職員全員で重点を確認し、一年の保育を考えていく基盤になった。各事務所に張り出すなどして意識できるようにしている。		
	②個々のケースに応じ、こどもや保護者に寄り添う保育をする				
	③食への関心が高まる様々な取組をする				
	職員は重点目標を理解し保育を進めた	A			
保育について	(1)市営保育所の保育の理念、保育の目的、保育の目標を理解し全体的な計画(保育の計画)の作成には職員が参加している	A	職員が環境プロジェクトを立ち上げ自主的に環境の見直しを行っている。意見を出し合うことでそれぞれの子どもの姿に合わせて見直すことができています。		
	(2)市営保育所の保育の理念、保育の目的、保育の目標を基本に各保育所の保育方針を作成している	A			
	(3)期別年間計画は乳幼児の実態に即して作成している	A			
	(4)保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている	A			
	(5)環境の構成を意識した保育を常に意識している	A			
	(6)生活や遊びに必要な素材・用具を適切に活用している	A			
	(7)一日の流れ(デイリープログラム等)は適切である	A			
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切である	A	年齢や子どもの様子に合わせて無理のない行事をしている。		
	(2)行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A			
	(3)計画・実施・評価・改善をしている	A			
◎保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価					
項目	内容	評価	特記事項		
経営・組織	分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になっている	B	会議資料を早めに出すことで各職員が意見を整理でき会議等でも活発な意見交流がある。日常からの連携も大切にしている。	
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっている	A		
		(3)職員の配置は適材・適所である	A		
		(4)係や仕事の分担・割り当ては適切である	A		
	運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めている	A		
		(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜むことなく保育所の運営に関わっている	A		
		(3)打合せ回数、時間、内容は適切である	A		
	クラス運営	(1)年齢別目標・クラス目標(個人目標)は保育目標や重点目標に基づいて設定している	A		日常から異年齢交流はあり、保育所全体で子どもたち一人一人を見ていく土台があることを活かして、もう少し計画的に取り組むようにしていきたい。
		(2)年齢別目標・クラス目標は、乳幼児の実態に即して適切に設定している	A		
		(3)同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っている	A		
		(4)意義や趣旨を話し合った同僚性のある保育を行っている	A		
		(5)反省評価、諸記録などの資料を整理・集積し保育の見直しに生かしている	A		
	保健・安全指導	(1)保育所運営に生かされるような具体的保健対策を講じている	A		
		(2)避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している	A		
		(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っている	A		
(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っている		A			
研修・研究	所内研修・研究	(1)職場での研修は、保育目標の具体化につながるものである	A	職員の学びたいところを職場研修に反映させている。小グループで意見交換や学ぶ機会を持つことで職員同士が学びを深め合っている。	
		(2)所内研修の計画・運営は適切である	A		
		(3)研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映されている	A		
		(4)研究の実践による乳幼児の理解が深まっている	A		
		(5)保育士の自己評価チェックシートを用いて、個々の振り返りを保育に生かしているか	A		
所外	(1)各種研究会、研修会、講習会への参加の充実を図っている	A	職員の学びがさらに深まっていくように、自主的に参加した研修がもっと全体に広がるようにしていく。		
	(2)各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元している	B			

項目	内容	評価	特記事項	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っている	A		
	(2)守秘義務の遵守を全員に周知している	A		
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	今年度は警察の方に来てもらったの不審者対応訓練を行うことや安全に遊具等が使えるように日常の確認を行っている。	
	(2)遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管している	B		
	(3)不審者等に対応する周回の配慮を行っている	A		
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1)他施設等との年間交流は保育目標や課題に沿ったものになっている	B	小学校との交流を実施しているが、主に年長児や年長担任が関わることが多いので、それだけにとどまらず、職員同士が理解が深められるような取組を考えていきたい。
		(2)他施設等の児童と触れ合う中で、楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っている	B	
		(3)指導者同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っている	B	
		(4)参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校の教育を理解している	B	
		(5)日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしている	B	
	家庭や地域との連携	(1)参観(参加)や保育所見学を制限せず、保護者以外も対象にしている	A	運動会の見学や幼老交流会など、地域とも交流を深めているが、日常からの交流をもっと深めていきたい。
		(2)保護者を含む地域の人材を活用している	B	
		(3)乳幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流している	B	
		(4)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れている	B	
	子育て支援の推進	(1)地域の子育て支援施設として、園庭や保育室を開放している	A	地域からの多くの利用がある。子育て支援について職員みんなで考えて取り組んでいる。
		(2)地域に住む子ども同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場所の設定を行っている	A	
		(3)「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定している	A	
		(4)職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	A	
		(5)医療関係、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	
	情報の発信	(1)保育所だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信している	A	
(2)行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知している		A		
外部評価	(1)第三者評価を導入し、施設運営に反映している	A		
	(2)地域や保護者の意見を施設運営に反映している	A		